

令和2年度キャリア教育全体計画

島根県立松江工業高等学校
全日課程

キャリア教育推進担当：前浩和・伊藤彰記
外部との連携担当：守下俊秀

校訓
修道創意
自律自学の精神
進取高邁な精神

教育方針
次世代を担う社会に有為な形成者として、人権を尊重し人類の平和と発展に寄与できるすぐれた資質（〇すぐれた知性 〇高い品性 〇健全な心身）を養う。

生徒の実態
職業資格・検定試験に積極的に取り組み成果をあげている。多くの生徒が地元就職を希望している。

保護者・地域の期待
確かな学力を持ち、コミュニケーション能力を身に付けた人間性豊かな生徒を育成する。

教育課程上の位置づけ
共通教科を基盤に実習・製図・課題研究を中心とした各専門科目を通して、キャリア教育を推進している。

課題：多様な進路ニーズに対応すること。

求める学力
〇各教科の基礎基本の確実な定着とそれらを応用し、自ら考え、判断し、自ら学ぶ力。
〇適切な進路を自ら選択し、地域社会に貢献できる職業人として自立する力。

育てたい生徒像
地域産業を担う工業のスペシャリスト
豊かな人間性を有する生徒
他者と協働し問題解決にあたることのできる生徒

キャリア教育推進委員会
教頭、主幹教諭、進路指導主事
教務主任、生徒指導主事
総務主任、建築都市工学科主任
電子科主任、電気科主任
情報技術科主任、電子機械科主任
機械科主任、各学年主任
キャリア教育担当

キャリア教育の全体目標

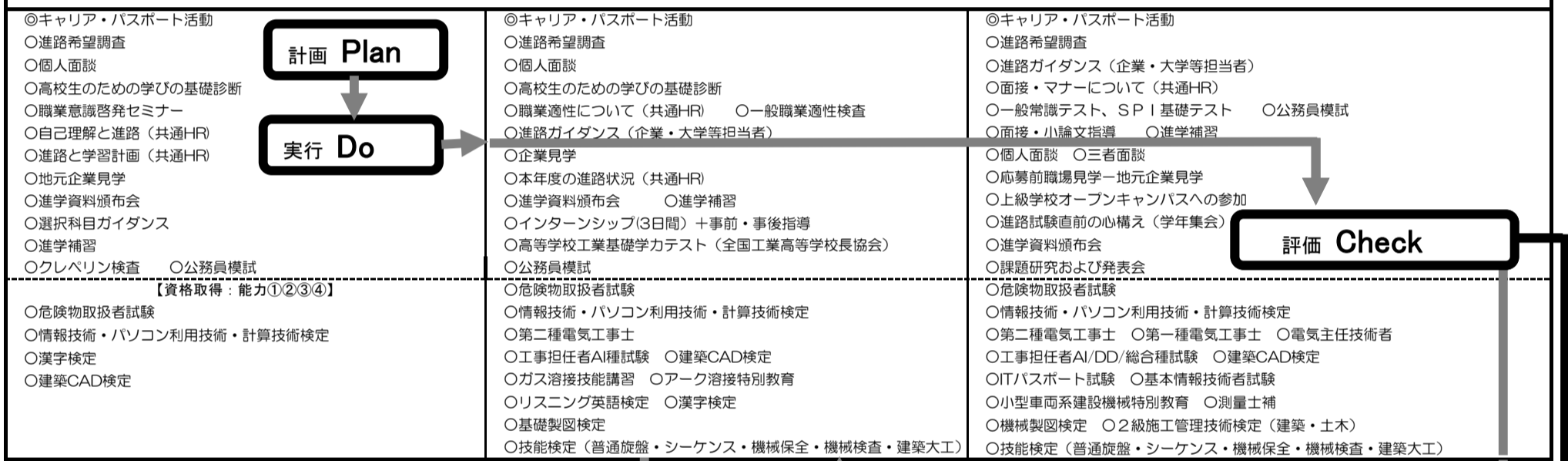
- 〇実習等におけるグループ学習を通して、協働することができる能力を育成する。
- 〇社会人・職業人として自立するために、思考や感情を律して学ぶことができる能力を育成する。
- 〇課題研究等を通して、課題を発見・分析し、解決することができる能力を育成する。
- 〇外部連携等により働く意義を理解し、主体的にキャリアを形成する能力を育成する。

キャリア教育で育成する能力（基礎的・汎用的能力）

- ①人間関係形成・社会形成能力
- ②自己理解・自己管理能力
- ③課題対応能力
- ④キャリアプランニング能力

第1学年：重点目標	第2学年：重点目標	第3学年：重点目標
自己理解・職業理解の深化	勤労観・職業観の確立	自己の可能性に挑戦
<ul style="list-style-type: none"> 〇個人としての在り方生き方の探究 〇他者の理解と他者を尊重する意識 〇勤労観・職業観の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 〇社会人と個人の関係の理解 〇社会人としての価値観の形成 〇現代社会の構造の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 〇課題設定能力・解決能力の育成 〇自己目標の探究と自己実現 〇よりよき工業人としての自覚の形成

具体的な取組（産業社会における自己の生き方在り方を考えさせる）



各分掌との関わり（キャリア教育推進委員会）

総務部	教務部	生徒部	進路部	学科主任	学年主任
<ul style="list-style-type: none"> 〇キャリア教育の視点を踏まえた学校行事の計画立案 〇OPTA等との連携 〇外部との連絡調整 〇広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 〇キャリア教育の視点を踏まえた教育課程の編成（コース制・選択授業） 〇学習指導計画の立案 〇地域への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 〇キャリア教育の視点を踏まえた学校行事の計画立案 〇主体的・協働的な校外外語活動への参画を通しての自らの、適正の発見 〇基本的生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 〇進路指導計画の立案 〇インターンシップの計画立案 〇生徒・保護者への情報提供 〇キャリア・カウンセリング 	<ul style="list-style-type: none"> 〇各専門分野の進路情報の発信 〇インターンシップ企業等の選定 〇キャリア教育の視点を踏まえた実習・課題研究の計画 〇キャリア・カウンセリング 	<ul style="list-style-type: none"> 〇キャリア教育の視点を踏まえた学年経営。朝読書・朝学習を実施し遅刻防止・進路意識の高揚を図る。 〇特別活動の運営と指導 〇キャリア・カウンセリング

各領域におけるキャリア教育で育成したい能力

共通教科	工業科（専門教育）	課題研究（総合的な学習の時間）	特別活動・道徳教育	その他
<ul style="list-style-type: none"> 〇各教科・科目の学習の内容を将来の生活に結びつける。活用場面・学ぶ面白さ・培われる能力態度とその意義を伝える。 〇「基礎学力の定着（読み・書き・計算・ICTスキル等）を図る。 〇【能力①②③④】を各教科の中で育成するよう授業改善を図る。 〇選択科目を設定し、生徒の興味関心に応じた学習活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇専門的な知識と技能・技術の定着を図る中で【能力①②③④】を培う。 〇工業技術基礎、実習、製図、課題研究を通して工業人として必要な「社会人基礎力」（考え抜く力・チームで働く力・前に踏み出す力）【能力①②③④】を育成する。 〇将来の職業に必要な資格取得を推進し専門性を高め【能力②③④】を高める。 〇工業技術基礎・実習等、少人数授業の実施で「基礎学力の向上」を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇ものづくりを通して、生徒自ら進路等に応じて設定した課題をグループで解決していく中で【能力①②③④】を培う。 〇各教科で学んだ事柄を復習しながら、専門知識と技術を深化させ総合化させる中で【能力④】を培う。 〇役割分担させ、協働して物を完成させる活動の中で【能力①②③④】の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇ホームルーム活動を通して他者の個性を尊重しながら自己理解の認識を深める中で【能力①②】を培う。 〇学校行事の準備・運営・役割を通して【能力①③】や達成感を育む。 〇生徒会活動の準備・運営・ボランティア活動を通して【能力①③】を培う。 〇道徳教育の重点目標を踏まえ特別活動と連携し規範意識や公共心が高まった生徒を育成する。【能力①②】 	<ul style="list-style-type: none"> 〇検定試験や資格取得・ものづくりコンテストに参加することで【能力①③④】を培う。 〇インターンシップや企業見学の体験を通して【能力①②③④】を育成する。 〇部活動を通して幅広い他者との関わりの中から【能力①②③】を育む。 〇朝学習により生活習慣を改善し【能力①②③】を育成する。

キャリア教育を推進させるための基盤

評価項目 Check	活用できる事業	保護者との連携	産業界との連携	地域・異校種との連携
<ul style="list-style-type: none"> 〇キャリア・パスポート活動 ※生徒の資質・能力の変容数値比較 〇進路意識調査 〇地元企業見学アンケート 〇インターンシップアンケート 〇資格検定試験合格率 〇就職・進学試験合格率 	<ul style="list-style-type: none"> 〇コンソーシアム事業 事業（県教委）との連携 インターンシップ・企業見学・課題研究・地元企業説明会【能力①②③④】 〇職業資格顕彰制度（県教委） 〇ハローワークとの連携 〇ふるさと島根定住財団との連携（卒業後の支援） 	<ul style="list-style-type: none"> 〇規範意識の醸成は家庭における躾や生活習慣を土台としており保護者の理解を得る。 〇OPTAとのボランティア活動や保護者面談を通じキャリア教育の理解を深めるとともに、キャリア教育の目標の周知を図る。 〇「学級通信」「進路だより」「ホームページ」等でキャリア教育の様子を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇地元企業へのインターンシップを通して専門学科に関する知識・技能・技術を総合的に習得する。現場に向くことにより正しい勤労観・職業観を身に付け自己の考え方を深化させ自己の生き方在り方を追求できる能力を育成する。【能力①②③④】 	<ul style="list-style-type: none"> 〇地域に根ざした交流活動を実施する。 〇課題研究の中で地域に向き、地域の課題を解決する中で【能力①②③④】を育む。